

ふれあい雪谷

平成16年
新年号

申



(笹丸 小倉 英靖さんの作品)

平成十六年

母校の思い出 ⑬ 6年間苦勞した教室

私が小池小学校に入学したのは大東亜戦争（第二次世界大戦）中の昭和19年4月のことでした。

1年生ながら教育勅語を丸暗記したことを覚えております。戦争も段々激しくなり、2年生以上は学童疎開で学校には1年生だけが残し、校内はがらんとしていました。6年生の教室で授業を受け、机と椅子が高く座るのに苦勞した思い出があります。その教室も昭和20年5月24日の末明に、アメリカ軍B29から落された焼夷弾により焼けてしまいました。朝、学校に行くと2階建ての校舎は跡形もなく焼け、土台だけが残し校庭には焼夷弾の筒が1坪の中に3、4本ささっていました。

校舎がなくなり、いつから勉強を始めたか覚えていませんが、小池北町会事務所（小池自治会館）、武井邸、と当時小池の先生だった三橋邸で授業が始まりました。当時は3部授業、8時・10時・13時、開始を間違えて10時に行ったら終わっていたということもありました。

3年生になると焼けなかった赤松小学校での間借り授業、4年生の途中から小池小も平屋の教室が出来ましたが、壁は上等な物でなく紙や木くすで固めた材質、間仕切りは杉板、隣の教室の先生の声が聞える状態でした。

6年生になると今度は2階建ての木造校舎が出来るということで教室を壊し外で勉強（青空教室）をし、卒業式は完成していないぶち抜き教室で行いました。もちろん講堂も体育館もありませんでした。私たち14期卒業生は教室で苦勞した6年間でした。

卒業50周年を期に5年前から同期会を毎年行っております。昨年も10月18日に洗足池を散策後ポートハウスのテラスジュレを貸し切り盛大に行いました。（小池 江崎 洋）



【編集後記】

あけまして おめでとぅーございます。昨年は、冷夏・暖冬と異常気象の一年でしたが、今年はどんな年になるのでしょうか。皆様にとつて幸多き一年になるといいですね。

「ふれあい雪谷」も今年からインターネットに登載致します。雪谷特別出張所のホームページの一部に載ることになりました。ぜひ、インターネットのホームページもご覧下さい。

（上池上 田中 紀子）

【発行】わがまち大田雪谷地区推進委員会
【編集先】雪谷特別出張所
大田区東雪谷四一三二二
電話 三九一五二一七
【発行日】平成十六年一月一日
通巻第五十四号

サークル紹介 23

フラダンスって

素晴らしい

わたしたちは毎週一回文化センターでフラダンスを練習しています。

はじめたのは平成元年で、もう十五年もたちました。

フラダンスはハワイの踊りで、手話と同じように手の動きで表現し、それが物語になっているのです。見ていると簡単に思えるフラの踊りも、完全にマスターするには日々の練習が欠かせないので。

わたしたちは現在十二名で、三十歳〜五十八歳までの会員で男性も入り楽しくやっております。

フラダンスは奥が深く、やればやるほど単純なものではありません。

「今日は調子がいいなあ」と思うと、次は「どうして今日はうまくいかないだろう」ということもあります。それでも懸命に体を動かし踊り、汗を流したそう快感はなんとも言えません。



今年五月一日に蒲田アブリコで、発表会が開催されます。ハワイからの参加予定者もありこの発表会に向けて全員ますます力が入ってきました。

皆さんも若さと健康のために、新年を機に参加してみたいかですか。（南雪谷 星野 光江）

私の健康法⑭

思いつくまに

まだ六十七歳の私が体験談などとおこがましいのですが、ぜひにとわれ筆をとりました。

一年位前、体の調子が悪くなりやせなくては治らないと言われ、三十年来の肥満におさらばした。今では一キロの増減で一喜することになりました。

基本としては規則正しい生活、運動と食事にあると、知らされました。運動は洗足池の周りの木々や草花を眺め、また鳥の声を聞きながら、時には道をていこうと思っています。変えウォーキングを毎日一時間位いたしました。

食事では大変苦勞いたしました。



（池の台 井上 京子）

年女・年男 今年の抱負

12歳

あと少しで小学校を卒業します。私は4年生の時から、吹奏楽クラブでトロンボーンをやってきたのでその経験を生かし、中学生になっても頑張りたいと思います。仲のよかった友達と別れるのは寂しいけれど、たくさんの思い出を作って最後まで、楽しく過ごしたいです。
(池の台 光井 仁美)

24歳

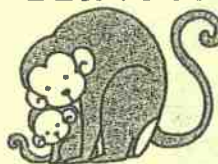
今まで「年男」という事に、特別な感覚はなかった。社会に出た当初の不安も、今はそれなりの自信に替えてこれたと思うが、今の現実「12歳の夢」とはかけはなれたものである。36歳の自分は全く想像しがたいが、今よりは夢に近づいた自分でいたい。今までのほとんど無自覚の12年を、今年から「充実の12年」にしていきたいと思います。
(南雪谷 K・M)



72歳

人生古来稀なり、昔からいわれて参りました。昭和7年生まれの私も、これで6度目の申年です。

一休禅師の詠まれた和歌に「門松は冥土の旅の一里塚 目出度くもあり目出度くもなし」とある如く、激動の昭和から平成もはや16年になりましたが、世の中はなかなか平穩無事にとは難しいようです。ことしも健康に留意して、平和と繁栄に、世のため、人のために充実した人生を送りたいと思います。
(小池 天田 正昭)



72歳

ついに6回目の申年を迎えることになりました。昭和25年、奥信濃より上京。雪谷・久が原駅前勤務し、希望ヶ丘商店街に独立して42年がたちました。しかし昨年閉店しましたが(精肉業)、ご愛顧頂いた地元の皆様に深く感謝申し上げます。

今年は節目の年に当たりますので、気を新たに好きな詩吟と、無双直伝英信流居合道、無双流居合斬道に励みます。そして「破邪剣正」を信念に、世のため、人のため、健康に留意して頑張っていこうと思っています。(希望ヶ丘 山崎 厚)

84歳

月日がたつのは早いもので、私も今年で84歳になります。若い頃は踊りに華道に書道にと、多忙な日々を送っていましたが、今はほとんどベッドでの生活になってしまいました。

今の楽しみは食べる事と孫の成長を見ている事です。これからも、おいしい物をたくさん食べて、元気で長生きをしたいです。
(上池上 田中 ヨネ子)

成人式を迎えて

早いもので、私も成人式を迎えることになりました。20歳になってこれから先、どんなことを体験していくのか楽しみです。その反面、自分が一人の成人として、しっかりとやっていけるのか不安でもあります。

今まで、周りの人たちに助けられ、支えられながら今日までやってきました。これからは、人に甘えていた部分を見つめ直し、自分の考えや行動に責任を持てるようになりたいです。

今はまだ未熟なところがたくさんありますが、少しずつでも人間として成長していけるよう、日々努めたいと思います。

(東中 M・K)

美しい環境づくり⑩

東中公園の清掃ボランティア活動をはじめて1年半になります。東雪谷商店会を母体とする私たち『ひまわりの会』も、当初は東調布公園事務所の方々の助けを借り、近隣居住者の協力も得てようやく軌道にのり、今日に至っています。

四季折々には、梅や桜が咲き、また梅・ビワ・スモモ・ブルーベリー・栗・柿等の実は旬の味覚を提供してくれます。

ふだんは保育園児らの遊び場、小中学生のミニサッカー場、あるいはサラリーマンやタクシードライバーの休憩所としても利用されています。ただ残念なことは、タバコの吸い殻・ペットボトル・空き缶・弁当の空き箱等、ゴミの投げ捨てには大変困惑しているのが実情です。清掃の都度思うことは、利用者がもう少し心してマナーを守ってもらえればと願うことしきりです。

このように東中公園は近隣居住者の憩いの場所として、また広くは区民のための公園として利用されています。そのことを思うとき、公園の維持管理のためにいささかでも『ひまわりの会』の奉仕活動が役立てればこの上ない幸せと思っています。そして毎年8月最後の土曜日に行われる盆踊り大会を通じて近隣地域とのふれあいが深まり、さらにきずなが強くなることを願っています。

(東中 ひまわりの会)



自治会リレー随筆

学校行事に参加して思ったこと

連合会長として、4校の周年行事に参加させてもらった。各校ともそれぞれの個性を生かし、教職員の皆さんの創造と熱意が手づくりの行事を成功させたということを感じた。

ある校長の話に「地域の人々が明治・大正・昭和・平成と幾多の困難を乗り越え、世代交代を繰り返しながら今日にいたったのである。様々な苦勞をしながら地域を守り、子供たちを育ててきたのである。その子供達もそれぞれ立派に成長し成人し、それぞれの立場でこれからの子供達のために尽くしているのである。本当に有り難いこととと思っている」というような内容であった。

今の子供達を見ると、一人一人は素直でやさしく、素晴らしい活動をしている。ところが集団となると思わしくないグループができて問題を起こすことがある。

学校にお願いしたいことは、親達に遠慮せず信念を持って教育に専念していただきたいことである。とくに個人の指導も大切であるが、集団としての在り方についての指導に力を入れていただきたい。

教育は、学校・家庭・地域が連携し、協力し合ってすすめていかなければならない。

われわれも今まで通り、町ぐるみで学校を守り育てていきたいと思う。また、学校行事も子供達のため、地域のために、ささやかでもいいから実行してほしいものである。

そういうことから、さらによい学校・よい家庭・よい地域が育っていくことであろう。

(希望ヶ丘 堀越 昇)



俳句
待ち針へ 一寒灯を 縫い合わす
(東中 岩波 博康)

短歌
寒鯉の 目覚めて一舟 動きけり
(東中 岩波 博康)

かくれんぼの 1人はみ出し 寒椿
(東中 岩波 博康)

顔見世や 名題看板 揃ひふみ
(小池 内田 喜代)

徳利と 七輪抱え おもち焼く
(小池 坂本 進)

新玉の 元旦迎えてぞ 打ち水の
庭に咲き競う 梅椿かな
(小池 高橋 久子)



この情報誌は古紙100%の用紙を使用しています。